

第5学年 社会科学習指導案

平成24年11月3日(土) 5校時

5年2組 38名 授業者 仲松久弥

1 教材名 「くらしを支える情報」【11時間扱い】

2 教材目標

- (1) 放送，新聞などの情報産業が様々な情報を提供し，自分たちの多くがそれらを多方面で利用していることについて，調査したり資料を活用したりして調べ，情報化の進展が自分たちの生活や産業の発展に大きな影響を及ぼしていることを考えることができるようにする。
- (2) 情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている医療，防災，福祉，教育などの事例について資料を有効活用したり，インターネットで情報を収集したりして調べ，それらのはたらきが，人々の生活を向上させるために利用され，自分たちの生活にも様々な影響を及ぼしていることについて捉えられるようにする。
- (3) 情報化した社会において，情報を有効に活用するために大切なことについて考えるとともに，様々な情報に対して適切に判断し，望ましい行動をしようとする能力や態度を身につけるようにする。

3 教材について

(1) 教材観

本単元の主題は「情報化の進展，情報ネットワークの活用，情報倫理」の3点に集約される。情報化社会の進展によって，携帯電話やパソコンが高機能化したり，新たな機器も登場したりしてきた。また，児童の身近なところでも，昨年地上テレビ放送の完全デジタル化に併せて，データ放送や衛星放送の普及が急加速し，個々の生活の利便性が大きく向上している。一方，学習の場において，「情報」という概念だけでは抽象的で，それがどのように社会に効果や影響をもたらすか，児童自身の生活にどう結びついているかは考えにくい側面もある。本単元では，児童の日常生活の中から，できるだけ具体的な場面をとりだし，情報をイメージできるものにしながら，それが持つ意味や役割について考えていけるようにしたい。

(2) 児童観

本学級の児童はこれまでに，新聞の仕組みについて理解したり，新聞記事や写真をスクラップしたりと，主に総合的な学習の時間において，新聞に触れてきた。さらに，他教科の授業でも，イメージを広げるために新聞を見たり読んだりしてきた。このように，新聞を読んだり，また，ビデオを見て学習したりすることには高い関心を示している。よって，児童にとって身近な情報媒体である新聞やテレビを大いに活用し，関心意欲を高めながら学習活動を進めていく。しかし，そこから分析・考察することはまだ苦手意識が高い。本単元では，情報を取り入れ，それを自分なりにまとめ発信していくという，情報発信者としての大事なことも観点にしながら，学習を進めていきたい。

(3) 指導観

本単元の内容は，おもに3つの中単元で構成されている。最初の「情報の中に生きる」では，私たちの日常生活は多くの情報に囲まれ，それらの情報によって生活が支えられていることを理解する。この中で，情報を発信者としてテレビ局や新聞社で働く人々は情報を伝える上でどのようなことを大切にしているか着目させたい。次の「情報ネットワークを生かす」では，情報ネットワークが公共サービスに活用されている例を取り上げる。終盤の「情報を上手に使いこなす」で

は、自らも情報の発信者・受信者であるという点を踏まえ、情報に関わる主体として留意すべきことを考えたい。

「うるま市実践9項目」との関わりでは、特に、言語環境の整備と言語活動の充実、習得したことを活用する場の設定を重点において指導する。では、新聞や資料を見て読んで気づいたことや学習したことをペアやグループで話し合い、発表の場を多く設ける。に関しては、の観点も併せ、『情報を整理し、伝えたいことを明確に表現できる児童を目指して NIE を活用した書く活動を通して』を自身の初任者研修の課題研究テーマに据え、本単元において学習したことや調べたことを的確な文章で書いて伝える活動ができるよう、学習を進めていく。

4 本時の学習 (1/11 時間)

(1) ねらい

日常生活で得られる情報や、それを入手する方法について考えることができる。

テレビ放送局が、視聴者に情報を伝えるための工夫や編成についてどのようにしているか考えることができる。

(2) 授業仮説

- ・情報を伝えるテレビ番組を調べる場において、新聞のテレビ欄を活用することによって、ニュース番組等情報を伝える番組が多く占めていることを知り、時間帯などの工夫について考えることができるであろう。

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点 実践9項目	評価
導入 5分	1 私たちはどのような情報に支えられて暮らしているかについて考える。(PC, 携帯, テレビ, ラジオ他) 2 めあての確認	・たくさんのメディアを挙げさせる。 ・本時はその中でもテレビについて学習することを明確にする。 ねらいを明示した授業の実施	本時への関心意欲があるか。【関心・意欲・態度】
「テレビ欄の中に、ニュース番組はどれだけあるか探そう」			
展開 35分	3 一日の番組欄の中に、ニュース番組がどれだけあるか探す。 ・まずは個人で番組欄にニュース番組をチェックし、書き込みをする。 ・気づいたことをじっくり考える。 ・席をグループに直し、お互いに気付いたことを発表し合い、まとめる。 4 気づいたことを発表する。 ・グループから代表で発表し、全体で共有する。	・新聞のテレビ欄を使用する。 □ ・グループにしたときに、平日版・週末版を調べる児童が同じ割合になるように配布する(全曜日にはしない)。 ・ N マークに注目させる。 □ ・黒板に新聞を掲示し、ニュース番組部分を赤枠で囲む。 言語環境の整備と言語活動の充実 ・児童から出てきた意見を集約し、まとめていく。 板書の工夫	新聞から探す。【技能】 話し合いに参加する。【関心・意欲・態度】 / 【思考・判断・表現】
まとめ 5分	5 分かったことを発表する。 6 次時予告 ・テレビのニュースはどのように作られるか調べることを知る。	・個人でまとめる。 自己評価の実施 ・予習を奨励する。 家庭学習と授業の連動	まとめたり発表したりする。【思考・判断・表現】

(4) 評価

- ・新聞のテレビ欄から、ニュース番組の占める割合や、編成等の工夫について考えられたか。